

ホーム > 市民レポーター > ひばりが丘団地「梅雨のビオトープ」

### ひばりが丘団地「梅雨のビオトープ」

今年2度目のカルガモの誕生。ビオトープに集まる人々はヒナの無事な成長を祈り、1羽、2羽…と数え「大丈夫10羽いる！」と胸を撫で下ろします。

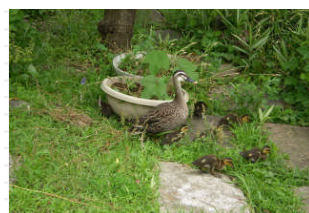
例年より遅くなった田植え。今年は頼もしい助っ人が！南中学校の生徒さんです。重労働の田起こしや代かきに若い力を発揮しました。  
《 空 》



写真提供：市川さん  
6月18日に卵から孵った直後の写真です。



産まれたばかりというのに、10羽ピタリ親鳥に寄り添って。  
カルガモウオッチャーの目尻が下がります。



生後10日目草むらを散歩中、あちらこちらへと移動する子ども達にハラハラドキドキ、親鳥と同じ心境です。



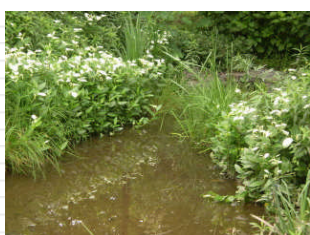
田起こし、代かきは重労働です。そこへ…



助っ人登場！  
向こうに見えるのは南中学校の生徒さんです。  
(5月29日)



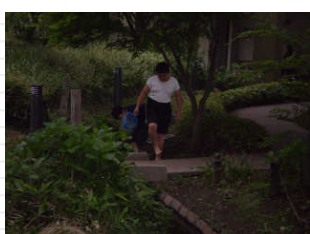
例年より遅い田植えでしたが稲は元気に育っています。  
(7月1日)



半夏生(はんげしょう)の葉が白く色づき始めました。



いつ訪れても、花々が優しく出迎えてくれます。ひばりが丘団地緑のワークのみなさんの日頃の手入れに感謝です！



男の子は時間を忘れ、ザリガニ捕りに夢中。  
いつの時代も変わりませんね！